

2022年8月3日

東京都知事 小池百合子 殿

新建築家技術者集団東京支部

「神宮外苑再開発に対する見解と、神宮の杜の歴史と文化を継承する再生整備の提案」  
への理解と施策への反映の要請

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私ども新建築家技術者集団は、住む人・使う人の立場に立ち、まちづくり・建築づくりを目指して日々活動する建築家・技術者の組織です。一昨年、設立 50 周年を迎えております。

さて、私たちは本年 3 月に「神宮外苑地区再開発計画の見直しを求める声明」を公表し、小池都知事に対して、本声明の実施を求める要請書を提出いたしました。私たちは声明をより具体化するため、神宮外苑の開発のあり方の検討を進め、7 月に別紙の「神宮外苑再開発に対する見解と、神宮の杜の歴史と文化を継承する再生整備の提案」（以下見解と提案）を公表いたしました。

神宮外苑再開発は、環境影響評価審議会では、事業者に対し東京を代表する景観である銀杏並木の保存策等を求めています。事業者は具体的な対策を示していません。そのため、環境影響評価審議会では異例の継続審議が続いています。このような状況から、小池都知事は、本年 5 月 26 日付けで事業者に対して、銀杏並木の万全を期す保全、多くの都民の共感と参画、詳細な情報のわかりやすい発信等を求める要請を行いました。私たちは、この都知事の要請を英断であると考えています。

私たちの「見解と提案」は、このような都知事の事業者への要請も踏まえ、都民への情報公開と都民参画による外苑地区の計画づくりを求めるものです。特に、大量の樹木の伐採・移植を前提とした大規模な再開発ではなく、神宮外苑創建時の計画思想を継承し、絵画館前広場の芝生広場への再生、主要スポーツ施設の現在地での改修等、既存樹木の保存を前提とした提案を行っています。

都知事におかれましては、東京都の都市計画決定権者として、本提案を受け止め、都政に反映いただくよう要請いたします。